

発掘作業の流れ

遺跡の発掘作業は、このような手順で行われます。



表土剥ぎ

重機で表土を取り除きます。



遺構検出

ジョレンや両刃鎌などを使って、昔のくらしの跡(遺構)を探します。



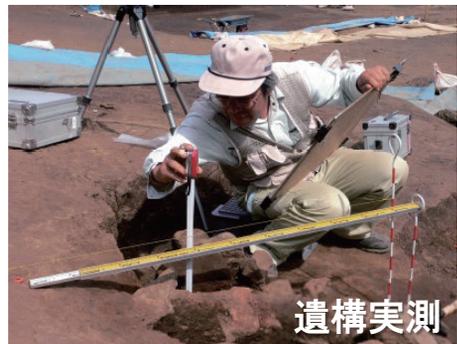
遺構精査

移植ゴテなどを使って、遺構を丁寧に掘り下げます。



遺構撮影

遺構や遺物が出土した様子などを写真にとって記録します。



遺構実測

遺構や遺物の様子を図面に書いて記録します。



写真撮影

カメラをつけたラジコンヘリで空から遺構の様子を撮影します。



遺物洗浄

土のついた遺物(土器や石器など)をきれいに洗います。

整理作業の流れ

発掘作業で出土した遺物や記録類は、さまざまな工程を経て報告書にまとめられます。



図面の整理

遺構ごとに図面をまとめ、整理します。



保存処理

壊れやすい遺物をきれいにし、強化します。



注記

遺物に遺跡や遺構名などの情報を記号で記入します。



接合・復元

遺物の破片を元の形につなぎ合わせます。



遺物の実測

遺物の寸法を測って、形や文様を図にします。



写真撮影

遺物の写真を撮影します。



編集

資料、データや整理作業の成果を編集し、報告書にまとめ、保存公開します。